

平成 25 年度農業青年グループ等育成事業

事業実施主体（ 飛翔クラブ 霧島市 ）

1 目的

クラブ員の約半分は茶農家であることから、茶を使った6次産業化の取組みを模索するとともに「売れるお茶作り」と「茶の消費拡大」の両観点から、ハーブを使ったフレーバーティに着目し、一部栽培可能なハーブの生産から加工、販売検討まで実施する。

その過程の中で、6次産業化に取り組む上での必要な課題や問題点等について検証を行い、今後の各クラブ員の農業経営に資する取組とする。

2 実施状況

一年を通し、①フレーバーティ用ハーブの栽培、②地元茶を使ったフレーバーティの商品開発③産直市等を活用した販売検討、④その他 の活動を計画実践し、一連の活動から、コンセプト作り（霧島茶の消費拡大とフレーバーティの方向性）、販売品として耐えうる加工や商品づくり、販売単価設定、パッケージング等、各行程毎にニーズを意識した実践を行うことができ、クラブ員の6次産業化に対する考え方やスキルアップが図られた。



3 今後の課題、取り組み

販売検討時に行ったアンケートや意向調査では、実際の商品化と販売を望む声もあり、次年度以降の商品販売に検討が進んでいる。